

第1回在宅医療と介護に係る多職種連携会議 ～顔の見える関係づくり～
を開催いたしました。

日 時 平成27年11月6日（金）午後7時30分から

会 場 松伏町ふれあいセンターかがやき

参加者は、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護師、病院相談員、入所施設、居宅介護支援事業所、包括支援センター、ショートステイ施設、訪問介護事業所、デイサービス事業所、デイケア事業所、リハビリ施設、などから110名の御参加をいただき、顔の見える関係づくり、第1回在宅医療と介護に係る多職種連携会議を開催いたしました。

内容は、吉川松伏医師会 平井真実会長より、開会挨拶がありました。

～平成30年度までに在宅医療と介護の連携体制の構築をしていかなければなりません、画一的な介護などから、患者さん一人ひとりADLの状態が異なりますので、患者さんにあった介護・医療の提供が求められてきています。そのためには何が必要となってきたのか。情報共有や患者さんの為になるようスタッフが顔の見える関係づくりを行い、チームワークを作っていく必要があります。次回は小グループ制にしていき、さらにスタッフの顔の見える関係づくりに努めていきたいと考えています。～



多職種連携会議の趣旨について松伏町の里見課長より説明がありました。

～地域の医療・介護サービスを一体的、総合的に提供していく必要があります。このため地域の医療・介護にかかわる全ての事業所、また事業者等が共通認識を持って、協力、連携していくことが必要となることから、様々な業種の方々に御参加いただき、多職種の連携会議を立ち上げたところです。今後の展開としましては、今まで活動を行ってきました、吉川松伏医療と介護連携の会を企画・立案の母体とし、今後は多職種連携会議を中心に様々な事業を展開していきます。スケジュールといたしましては、今年度は2から3回を予定していますので御参加をお願いいたします。～



地域包括ケアシステムについて吉川市の酒匂係長より説明がありました。



参加者全員の紹介がありました。

次に、主な団体からの事業紹介といたしまして、6名が紹介をいたしました。

相羽医院

相羽直人 先生

平井歯科医院

平井隆也 先生

吉川松伏医師会

訪問看護ステーション

佐藤厚子 所長

松伏町地域包括支援センター

千賀英昭 管理者

松伏町介護支援専門員等会

松川さゆり 会長

埼玉筑波病院

土居努 薬剤師



質疑応答では、訪問歯科診療に関する質疑がありました。

最後に松伏歯科医師会 原島晃会長より、閉会の挨拶がありました。

